

薬学部履修要項 別表

学年	科 目 名		開講期	単位	備考
第1学年	基礎科目	医療サイエンス(数理科学)	前期	1	2科目必修
		医療サイエンス(物理科学)	前期	1	
		医療サイエンス(物質科学)	前期	1	
		医療サイエンス(生命科学)	前期	1	
		English for Healthcare Communication	前期	1	必修
		基礎コミュニケーション	前期	1	
		健康と運動の科学	前期	1	
		アカデミックスキルズ	前期	1	
	教養科目	ドイツ語A	前期	1	3科目選択必修
		フランス語A	前期	1	
		中国語A	前期	1	
		日本語文章論A	前期	1	
		文学A	前期	1	
		美術A	前期	1	
		人間と宗教	前期	1	
		ジェンダーの社会学	前期	1	
		社会関係と自己	前期	1	
		民主主義と政治構造	前期	1	
		法学	前期	1	
		数学	前期	1	
		医療心理学	前期	1	
		感染症とバイオセーフティ	前期	1	
		情報リテラシー	前期	1	
		療法的な音楽活動	前期	1	
		医療人のための教養とマナー*	前期	1	
	専門科目	漢方薬になる動植物	前期	1	必修
		薬学への招待	前期	1	
		人体の成り立ちと機能I	前期	1	
		生命活動を担う分子(生命の基本単位)	前期	1	

学年	科 目 名		開講期	単位	備考
第1学年	基礎科目	人の行動と心理	後期	1	必修
		ヒューマニティ	後期	1	
		健康とスポーツの科学	後期	1	
		チーム医療の基盤	後期	1	
		Paragraph Writing	後期	1	
		生物統計	後期	1	
	教養科目	ドイツ語B	後期	1	3科目選択必修
		フランス語B	後期	1	
		中国語B	後期	1	
		日本語文章論B	後期	1	
		文学B	後期	1	
		美術B	後期	1	
		医療人としてのコミュニケーション入門	後期	1	
		現代ジェンダー論	後期	1	
		歴史遺産への招待(京都)	後期	1	
		法学	後期	1	
		感染症とバイオセーフティ	後期	1	
		死生観	後期	1	
		現代社会学	後期	1	
		国際政治学	後期	1	
		ポートランド州立大学サマープログラム	後期	1	
	専門科目	感性を掘り下げる色彩と造形	後期	1	必修
		医療人のための教養とマナー*	後期	1	
		熱力学・化学平衡概論	後期	2	
		有機化合物の構造と性質	後期	1	
		人体の成り立ちと機能II	後期	1	
		生命活動を担う分子(細胞構成因子)	後期	2	
		初年次体験実習	後期	1	
		薬学演習	後期	1	

学年	専門科目	薬用植物・生薬演習	通期	1	必修
第1学年	基礎科目	Freshman English	通期	2	
		地域医療入門	通期	2	
		医療サイエンス演習	通期	1	

前期必修科目数 13科目
前期必要単位数 13単位

※太字は実習・演習科目

*は開講しない科目

後期必修科目数 15科目
後期必要単位数 17単位
通期必修科目数 4科目／必要単位数 6単位
最低履修科目数 32科目／必要単位数 36単位

薬学部履修要項 別表

学年	科目 分類	授業 形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目
第2学年	基礎	講義	薬学英语の基礎 1	前期	1	必修	
	専門	講義	物質の状態と変化	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	有機化合物の反応	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子(物質輸送とエネルギー産生)	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (神経・感覚器・皮膚・泌尿器・消化器)	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	化学平衡	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (循環器・血液・内分泌・生殖器・遺伝)	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	薬の宝庫としての天然物	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子(代謝とその調節)	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	薬の作用と生体内運命	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	個人・集団・社会と健康	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	微生物と感染症	前期後半	1	必修	○
	基礎	講義	薬学英语の基礎 2	後期	1	必修	
	専門	講義	物質の構造	後期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品の検出と定量	後期	1	必修	○
	専門	講義	官能基の化学	後期	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)	後期	1	必修	○
	専門	講義	生体防御反応を担う組織、細胞、分子	後期	1	必修	○
	専門	講義	生活環境と健康	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範 I	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(悪性腫瘍)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(感染症)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬の効き方	後期	1.5	必修	○
	専門	演習	在宅チーム医療と倫理 T B L II (学部連携)	前期前半	0.5	必修	
	専門	演習	コミュニケーション	前期後半	0.5	必修	
	専門	演習	生と死	後期	1	必修	
	専門	演習	生理から病態へ 演習	後期	1	必修	
	専門	演習	薬学基礎から薬物治療へ 演習	後期	1	必修	
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修	
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修	
	専門	実習	物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法	前期前半	1.5	必修	
	専門	実習	医薬品の化学 実習	前期後半	1.5	必修	
	専門	実習	人体の成り立ちと機能 実習	前期後半	0.5	必修	
	専門	実習	診療の流れを知る 実習	前期後半	1	必修	
	専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修	
	合計			履修科目数35科目 (うち2科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数34単位			

○ 対象科目(前期11科目、後期10科目);再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントについては、2年次から履修し第6学年において単位を算定する。

※2 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

前期必要要件単位数 17.5単位

最低履修科目数 33科目 必要要件単位数 34単位

後期必修科目数 15科目

後期必要要件単位数 16.5単位

薬学部履修要項 別表

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目
第3学年	専門	講義	薬学英語 1	前期	1	必修	
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	前期	1	必修	○
	専門	講義	溶液の性質	前期	1	必修	○
	専門	講義	生体分子の化学	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬物の体内動態	前期	1	必修	○
	専門	講義	生体防御反応の応用と免疫疾患	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(神経・精神系疾患)	前期	1.5	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(呼吸器系疾患)	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(消化器系疾患)	前期	1	必修	○
	専門	講義	臨床で用いる分析技術	前期	1	必修	○
	専門	講義	処方箋と調剤	前期	1	必修	○
	専門	講義	製剤の性質	前期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品情報と患者情報	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬学英語 2	後期	1	必修	
	専門	講義	製剤設計	後期	1	必修	○
	専門	講義	機器分析	後期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品の化学	後期	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	後期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品・化学物質の代謝反応	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬物動態の解析	後期	1	必修	○
	専門	講義	栄養と健康	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(循環器系疾患)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)	後期	1	必修	○
	専門	講義	社会保障制度と医療経済	後期	1	必修	○
	専門	演習	薬剤師の使命	前期	1	必修	
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)	前期	1.5	必修	
	専門	演習	薬剤師に求められる倫理観	後期	1	必修	
	専門	演習	研究倫理と統計	後期	2	必修	
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)	後期	0.5	必修	
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	後期	2	必修	
	専門	演習	薬学基礎と臨床の複合演習	後期	0.5	必修	
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修	
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修	
	専門	実習	健康と環境 実習	前期	1	必修	
	専門	実習	調剤・患者対応入門 実習	前期	1	必修	
	専門	実習	薬の効くプロセス 実習	前期	1	必修	
	専門	実習	急性期医療と薬剤師 実習	後期	1	必修	
	合計			履修科目数 38科目 (うち2科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数38単位			

○ 対象科目(前期12科目、後期11科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントについては、2年次から履修し第6学年において単位を算定する。

※2 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

前期必要要件単位数 19単位

最低履修科目数 36 科目 必要要件単位数 38 単位

後期必修科目数 18科目

後期必要要件単位数 19単位

薬学部履修要項 別表

学年	科目 分類	授業 形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目
第 4 学 年	専門	講義	薬となる化合物の構造と性質	前期	1	必修	○
	専門	講義	分子・細胞から生理・病態へ	前期	1	必修	○
	専門	講義	漢方医学の実践	前期	1	必修	○
	専門	講義	日常生活と健康	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬物送達システム	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節)	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(血液・小児・皮膚)	前期	1	必修	○
	専門	講義	個別化医療	前期	1	必修	○
	専門	講義	地域医療とプライマリーケア	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬毒物と中毒	前期	1	必修	○
	専門	講義	放射性医薬品の利用と管理	後期	1	必修	○
	専門	演習	学部連携チーム医療P B LⅢ・在宅チーム医療と倫理T B LⅢ	前期	1.5	必修	
	専門	演習	EBM演習	前期	1	必修	
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)	前期	0.5	必修	
	専門	演習	輸液と栄養	前期	0.5	必修	
	専門	演習	実務と基礎の複合演習	後期	1	必修	○
	専門	演習	キャリアデザイン ※1	通期	-	必修	
	専門	実習	薬学研究入門	前期	6	必修	
	専門	実習	実務実習事前学修	後期	4	必修	
	専門	実習・演習	ファーマシューティカルケアプログラム ※2	後期	-	必修	
	専門	実習	薬局実習※2	後期	-	必修	
合 計				履修科目数21科目 (うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数25.5単位			

○ 対象科目(前期10科目、後期2科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する。

※2 ファーマシューティカルケアプログラム、薬局実習については単位算定は第5学年において行う。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 15科目

前期必要要件単位数 19.5単位

最低履修科目数 18科目 必要要件単位数 25.5単位

後期必修科目数 3科目

後期必要要件単位数 6単位

薬学部履修要項 別表

学年	科目 分類	授業 形態	科目名	開講期	単位数	必修選択
第5学年	専門	演習	症候と疾患推測	前期	0.5	必修
	専門	演習	医薬品の副作用・有害事象	後期	1	必修
	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※2	後期	－	必修
	専門	演習	応用薬学演習 ※2	後期	－	必修
	専門	演習	症例演習と薬物療法の実践	通期	2	必修
	専門	演習	医薬品評価と開発 ※1	通期	0.5	必修
	専門	演習	キャリアデザイン ※3	通期	0.5	必修
	専門	演習	臨床心理学の活用	通期	1	必修
	専門	実習	学部連携病棟実習	後期	1	必修
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I・II ※2	後期	－	自由選択
	専門	実習	薬学研究 ※2	後期	－	必修
	専門	実習	海外における薬剤師の役割を知る	後期	②	自由選択
	専門	実習	病院実習 1 ※1	通期	4	必修
	専門	実習	病院実習 2 (精神医療実習を含む) ※1	通期	12	必修
	専門	実習	薬局実習 ※1	通期	10	必修
合計				最低履修科目数13科目 (うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数32.5単位		

※1 病院実習1、病院実習2(精神医療実習を含む)、薬局実習、医薬品評価と開発については、4年次から履修した時間数を第5学年において単位を算定する。

※2 応用薬学演習、薬学研究、アドバンスト薬学英語、学部連携地域医療実習については、5年次から履修した時間数を第6学年において単位を算定する。

※3 キャリアデザインについては、2年次から履修した時間数を第5学年において単位を算定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 1科目

後期必修科目数 2科目

前期必要要件単位数 0.5単位

後期必要要件単位数 2単位

通期必修科目数 7科目

通期必要要件単位数 30単位

最低履修科目数 10科目 必要要件単位数 32.5単位

薬学部履修要項 別表

学年	科目 分類	授業 形態	科目名	開講期	単位数	必修 選択
第 6 学 年	専門	演習	アドバンスト薬学英语 ※1	前期	1	必修
	専門	演習	応用薬学演習 ※1	前期	9	必修
	専門	実習	薬剤師の臨床判断	前期	②	自由選択
	専門	実習	学部連携地域医療実習Ⅰ	前期	②	自由選択
			学部連携地域医療実習Ⅱ		④	
	専門	実習	薬学研究Ⅰ	通期	17	選択必修 ※2
			薬学研究Ⅱ		16	
			薬学研究Ⅲ		15	
	合計			最低履修科目数 3科目 必要要件単位数 25単位以上 ※2		

＜卒業までに修得する単位数：191.5単位以上を必要とする＞

※1 応用薬学演習、アドバンスト薬学英語については、5年次から履修した時間数を第6学年において単位を算定する。

※2 自由選択科目(薬剤師の臨床判断、学部連携地域医療実習Ⅰ・Ⅱ)を選択しない学生については、「薬学研究Ⅰ」を履修する。
「薬剤師の臨床判断」、5年次または6年次「学部連携地域医療実習Ⅰ」、あるいは5年次「海外における薬剤師の役割を知る」の
いずれか1科目を履修した学生は「薬学研究Ⅱ」を履修する。
5年次または6年次「学部連携地域医療実習Ⅱ」を選択した学生、あるいは「薬剤師の臨床判断」と5年次または6年次「学部連携
地域医療実習Ⅰ」を選択した学生は「薬学研究Ⅲ」を履修する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 2科目

前期必要要件単位数 10単位

最低履修科目数 3科目 必要要件単位数25単位以上

通期必修科目数 1科目

通期必修単位数 15単位以上